

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(木)・六日(金)

午前九時半・午後一時半より

五日(木)午後七時より

仏教婦人会報恩講



今号の法語



宇宙から
地球を見ると
国境線は見えない

今号の内容

- ・広濟寺若院結婚報告
- ・広濟寺座敷等の修繕を行いました
- ・広濟寺若院結婚披露祝賀会
- ・今年も福島へ支援米をお願いします！



先日、宇宙とまではいきませんが外国に行って来ましたが、ヨーロッパに行ってきたのですが、訪れた先の一つにドイツのベルリンがありました。

ご存知のように、一九九〇年までドイツは二つの国に分かれていました。東ドイツと西ドイツ。この二つの国に分かれていたが、東ドイツ内であるベルリンには、西ドイツの飛び地がありました。この飛び地を囲むようにしてあったのが有名な「ベルリンの壁」です。

当時はこの壁を乗り越え西ドイツに亡命しようと、多くの市民が命をかけた。

人間によって作られたこの壁による「境」も、東西統一から二〇年以上が経った今では、そこに壁があったという記憶すら薄らいできています。

壁とは何だったのか。その「境」が何をもたらしたのか。

今を生きる私たちができることは、新たな「境」を作らないことでしょうか。

広濟寺若院結婚報告



九月二十六日(土)、広濟寺にて、若院(福田慶隆)の仏前結婚式が石堤の長光寺ご住職のご司婚により行われました。

当日は天候にも恵まれ、大変多くの方々に見守っていただきながらの挙式となりました。

厳かに堂内に響き渡る雅楽のもと、仏前での結婚式は始まります。私は仏前結婚式自体は何度も経験していたのですが、いざ新郎本人でとなるとどうすればいいのかわからず右往左往。皆さんに助けられながら、ご本尊である阿弥陀さまの御前で、無事滞りなく式を挙げることができました。

式後は、ニューオータニホテルへ移動し結婚披露宴。結婚式に引き続き、門徒総代・護持会副会長の方々にもご列席いただきました。

披露宴では多くの皆さまから心温まる言葉や余興をいただき、楽しくも有り難い時間を過ごさせていただきました。

翌日からは早速新婚旅行。長期間にわたって法務も休ませていただき、おかげさまで楽しい珍道中の旅をさせていただきました。

これからは二人この広濟寺

座敷等の修繕を行いました

夏に二階座敷・一階座敷などの修繕を行いました。

特に寺院方の控え間である二階の座敷は西日にさらされ傷みがひどい状態でした。

障子戸は反ってしまい、引っ

に住まわせていただきます。ご門徒の皆さんからお預かりしている広濟寺が益々発展するよう一生懸命に頑張りたいと思います。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



座敷等の修繕を行いました

かかつて動かず。畳もどれだけ掃除をしてもすぐに屑がでてきてしまい、報恩講中にご寺院方に衣をたんでいただくのも申し訳ない状態だったことから、修繕させて頂きました。

広濟寺若院結婚披露祝賀会

広濟寺御堂にてご門徒と共に

十月十八日(日)正午より、広濟寺にて、

若院結婚披露祝賀会を開催いただきました。皆さまお忙しい中にも関わらず一〇名以上の方々にお越しいただき本当にありがとうございました。ご年配の方々もたくさんご出席くださいました。また何よりも、初めてお寺に來てくださった方も多くおられ本当に感謝しております。門徒総代をはじめ護持会役員の方々手作りの披露宴は、



大変に心温まる忘れられない一日となりました。

出席くださった方々による余興も個性豊かで、笑い声が絶えない、幸せな時間となりました。

途中には住職(福田史朗)の富山風雪賞受賞のお祝いもいただき、寺族一同大変感謝しております。

福田家も新たな寺族が増えたことで、毎日楽しく

賑やかな生活を送らせていただいております。

広濟寺はご門徒をはじめ地域の皆さまのお寺です。仏さまのみ教えとともに、皆さんの心の拠り所となる生きたお寺でありつづけるようこれからも精進していく所存です。これからも広濟寺を宜しくお願いいたします！



若坊守挨拶

はじめまして。若院の妻の千夏と申します。

九月の結婚式、十月の祝賀会に際しましてご門徒のみなさまからの温かいお言葉や祝福を頂き改めて感謝しております。本当にありがとうございます。

私は実家が兼業農家でしたのでお寺のことはまだ分からないことが多いのですが、これから住職をはじめご門徒のみなさまから教えて頂き、教わりながら励んで参りたいと思っております。至らぬ点が多いと思いますがどうぞよろしくお願い致します。



お知らせ

二〇一五年

おみがき

十月二十七日(火)

午前九時より

報恩講

十一月五日(木)・六日(金)

午前九時半より

午後一時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳師

御伝鈔拜読

十一月五日(木)

午後四時より



子ども報恩講

十一月五日(木)

午後五時半より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(木)

午後七時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※月参りについて

十一月四日・五日・六

日の三日間はお休みさせ

ていただきます。



支援米募集

編集後記

おかげさまで、福島県相馬地区への支援米活動も第五回目を迎えることが出来ました。昨年は県西部の本願寺派寺院・門徒で五・九トンのお米を送らせていただきました。

大震災から四年半が経ち、被災地ではない私たちからはあの震災の記憶が薄れつつあります。しかし、今年九月の時点で依然として十九万五千人の方が避難を余儀なくされているのが現状です。

今年も何卒皆様の温かいご支援をお願いしたく思います。支援米は、新米(白米でも玄米でも可)となっております。

十一月十日(土)まで広濟寺にて受け付けます。ご協力宜しくお願いいたします。



今号は、私の結婚に関することばかりになってしまいました。しかし多くの門信徒の方々から温かい言葉を頂戴し、お寺に生まれさせていだいてこれほどうれしいことはありませんでした。

結婚後の新生活は普通ならば新居で！となるどころです。が、有り難いことにお寺での同居生活がスタートしました。六人家族でワイワイガヤガヤ楽しんでいます。特に祖母や母の女性陣がうれしそうで、時間を忘れてしゃべっています。男性陣はますます肩身が狭いことに……。

どうか皆さんお参りなどの際には、同居の知恵・夫婦円満の知恵など色々教えてください。これからもこの新米夫婦を宜しくお願いいたします。